

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 やさしさいっぱい天神

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		時間帯に応じて、多目的室を活用する。	
	2	職員の配置数は適切である	2	2		人員基準上の配置は足りているが、送迎時や屋外活動時に配置不足を感じるため、改善に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		トイレやベランダの出入口に段差があるため、注意喚起の掲示や声掛けの徹底など、事故防止に努める。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		会議内で利用者振り返り等を行うサイクルを取り入れている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		継続的に実施し、業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		現在はホームページのみの公開となっているが、将来的には会報での発行も検討していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		この自己評価の結果を十分活用した上で、必要があれば、第三者評価を受けることも検討する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	研修計画に従い内部研修を実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		初回契約時のアセスメントや見学時等の様子を観て計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		アセスメントだけでなく居宅支援や学校などへ情報を収集している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		毎週1回活動プログラム立案の会議をしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		職員のアイデアを活かしたり、利用者の希望も取り入れてい	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			平日、休日、長期休暇等での細かい設定を考え支援をしているが、利用者の希望等に応じて支援を検討する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	障害の状況や年齢にあわせ個別活動と集団活動を考えて計画している。	個人の状況に合わせて個別活動を充実させていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎日の朝礼で、当日の支援内容等を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎日の終礼で振り返りを行い、気づきを共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		正確に活動記録をとることを徹底している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		半年ごとにモニタリングを行い、計画の見直しに役立っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4		ガイドラインに沿った事業実施を基本の考え方にして支援をしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達支援管理責任者が参画している。	児童発達支援管理責任者だけでなく、利用者の支援に深く関わっている職員が対応していけるようにしていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		週末に翌週の下校時刻等を確認し、連絡調整している。	定期的に学校の担任、スクールカウンセラー等との情報共有と支援の方向性の確認を行なっていきたいと思っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		現時点では医療的ケアが必要な子どもの受け入れは困難な状況であるため、体制等について検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4		保護者からの情報が主となっているが、今後は児童発達支援センター等とも情報交換に努めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	該当事例なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		障害児福祉に関わる専門機関からの助言を受けることはあまりありませんが、今後は助言等が頂ける環境作りを行っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2		学校休業日の屋外活動などにおいて機会があるが、今後も積極的に取り組んでいきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2		今後は研修等も含めて積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎対応に必ず常勤職員が入り、その日の状況や課題等を伝える様にしている。	送迎時に伝えあってはいるが、更に共通理解が持てる場の設定が必要だと思う。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		まず職員が研修等で支援技術を学んだ上で、ペアレント・トレーニング等の支援に取り組んでいく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に、負担額等の説明を行っている。	分かりにくい点もあるので丁寧な再説明等の対応していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		ご家庭の様子や相談に適宜対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		利用する子どもの数も増えたので、今後は保護者同士の交流や連携が図れるように保護者会等開催の計画を立案していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		苦情があったものに対しては迅速に対応している。	苦情受付窓口を整備し、重要事項説明書に記載している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		月の行事予定表等は配布している。	会報誌等は現在は発行できていないため、今後は作成を検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	4		注意して取り扱い、不要になった書類等はシュレッダーを使用している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		毎回連絡帳を記入し、その日の様子等を保護者と情報交換を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		今後は、地域交流会に参加したり、地域の方を行事に招待したりして、交流を図っていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		各マニュアルは策定している。	契約時に、災害時等の対応については説明を行っているが、今後も保護者への周知を図っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		ケースの対応については丁寧に話し合う時間を持つようになっている。	虐待防止の研修会として、今後勉強会等の実施を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		4	該当事例なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			保護者から配慮の必要性を伝えられた場合はその内容に応じた対応を行なっている。おやつの種類や原材料等。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ミーティング時に事例検討を行い共有している。	